

Once upon a time, in a northern country's small village, there was a married couple, Ivan and Masha.

Although it had been quite a long time since they got married, the couple still didn't have any children.

One winter morning, the couple was looking out of the window at the neighborhood children joyfully playing in the snow.

Then, Ivan suddenly stood up.

"Hey Masha, let's make a snowman. Maybe playing in the snow would make us feel like we have a child."

"Ok, let's. It's been years since we played in the snow."

The couple then, went outside and gathered some snow in front of their house.



5

"Let's make a girl snowman."

They made a face for the snowman by drawing lines with their fingers and at the end, they put a red knit cap on it.

"Her name will be...let me think...OK, Natasha!"

"God please bless Natasha."

The couple kneeled down on the snow and prayed deeply to God.

The next morning, someone knocked on their house's door.

When Ivan opened the door, there was an adorable little girl standing there.



むかし、きたの　くにの　ちいさな　むらに、  
イワンと　マーシャという、  
ひとくみの　ふうふが　すんでいました。  
ふたりは　けっこんしてから　しばらく  
たっていましたが、まだ　こどもが　いませんでした。

ある、ふゆのひの　あさ。  
ふたりは　いえの　まどから、そとで　たのしそうに  
ゆきあそびを　している、  
きんじょの　こどもたちを　ながめていました。  
ふと、イワンが　たちあがりました。

「なあマーシャ、ゆきだるまを　つくろう。ゆきあそびでも  
すれば、すこしは　こどもがいる　きぶんを  
あじわえるんじゃないか？」  
「そうしましょうか。ゆきあそびなんて、  
なんねんぶりかしら」

さっそく　ふたりは　そとに　でて、  
いえの　まえの　ゆきを　あつめました。





「このこは、おんなのこに しましょう」

できあがった ゆきだるまに、  
ゆびで せんをひいて かおを つくり、さいごに、  
あかい けいとの ぼうしを かぶせました。

「なまえは・・そうだな・・よし、『ナターシャ』だ！」

「かみさま、どうか ナターシャに、  
しゅくふくを さずけてください」

ふたりは ゆきの うえに ひざをついて、  
かみさまに ふかく おいのりをしました。

さて、つぎのひの あさ。  
だれかが いえの ドアを たたきました。

イワンが ドアを あけると、  
そこには かわいらしい おんなのこが たっていました。

